



ARTIST  
SUPPORT

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。  
寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。

「人のいるところには夢がある」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。

どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、

人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに

掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

今年も引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。



アーティストサポートの詳細は  
こちらをご覧ください。

## 2024年度ご支援いただいた皆様

### <2024年度 年間サポート>

朝妻 幸雄 F.A. 井上 豊 岩村 和央 上原 啓子 上村 憲裕 M.U. K.O. S.O. 小田島 容子  
片山 由美子 H.K. K.K. 栗田 美知子 R.K. 新貝 康司 M.S. M.T. R.T. A.D. 田中 治郎 F.T. 東條 Lilly  
トゥルーラブ 真智子 トゥルーラブ 真凜 K.N. E.N. 兒子 弥生 S.N. 長谷川 智子 T.H. 樋口 美枝子  
響城 れい M.H. 平山 美由紀 藤野 盾臣 松尾 芳樹 松田 孝裕 真野 美千代 三木谷 晴子 J.M. M.M.

株式会社青林堂 株式会社セキド 三井住友カード株式会社

株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 株式会社ロジックアンドエモーション

ライフプラン株式会社 Heart of the Earth株式会社 きづきアセット株式会社 (匿名希望 27名)

### <2024年度 福間洸太郎に「花を贈ろう!」>

あかほり みお 厚見 有紀 F.A. J.A. 池田 惇子 石黒 裕康 石崎 典子 井住 智子 R.I. A.I.  
岩塚 究 K.U. M.E. 猿渡 かおり M.E. 大畑 篤子 大原 志津子 大原 みずほ 小山田 美代子  
カッキー 柿 信子 柏 香織 T.K. 川島 理絵 駒場 雅世 A.K. 桜猫 桜井 桂子 佐々木 珠乃 佐野 孝枝  
A.S. N.S. 塩崎 勢子 W.S. A.S. 新里 真美子 進導 幸太郎 鈴木 志保里 N.S. 早田 利江 高島 秀子  
鷹巢 綾子 高田 恵子 N.T. 武田 眞子 武田 佳美 辻田 奈津 土屋 麻起 長江 雅子 中嶋 妙子 Y.N.  
中島 葉子 S.N. 中村 祥子 A.N. K.N. 野口 由美 H.N. 林 順子 平井 聖香 平山 美由紀 深堀 悦代  
S.F. 伏見 由加 A.H. R.M. K.M. 三浦 祐子 三浦 洋子 村田 恵美 村山 幸恵 山口 恵美  
依田 晴美 (匿名希望 24名)

### <2024年 ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

井口 和美 K.K. Rimiko M.H. M.M. 真野 美千代 水足 久美子 水足 秀一郎 ロロコミ・リリコミ  
(匿名希望 12名)

### <2024年 ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

井口 和美 T.O. K.K. Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M. 真野 美千代 村瀬 治男  
ロロコミ・リリコミ (匿名希望 11名)

2025年2月25日現在 敬称略

### お知らせ

現在2025年度年間サポートを受付中です。

詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 TEL.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)

新時代の旗手が魅せる“シヨパン”

# 阪田知樹ピアノ・リサイタル

オール・シヨパン・プログラム

Tomoki SAKATA  
PIANO RECITAL

2025年3月14日(金) 19:00開演

東京オペラシティ コンサートホール

主催：ジャパン・アーツ

本日はご来場いただき、ありがとうございます。

ショパンとは、ピアノを演奏する多くの人にとって、一作曲家以上の意味を持つ重要な人物です。

ハンス・フォン・ビューローは、J.S.バッハの『平均律クラヴィーア曲集』、ベートーヴェンによる32曲の『ピアノ・ソナタ』を、ピアノ音楽の『旧約聖書』・『新約聖書』に例えたことはあまりにも有名ですが、ショパンによる24曲の『練習曲集』は、まさにそれに続くピアノ音楽の極致とも言うべき傑作です。

磨き上げられた音楽の美しさに加えて、名ピアニストでもあったショパン自身の独創的なピアノ演奏技術の奥義がそこには秘められているのです。

そして『24の前奏曲』では、ショパンが詩を綴るように、24の異なるさまざまな感情や情景を瞬間ごとに切り取り、私たちの前に表します。

これら48曲を一夜で演奏することは珍しいですが、ショパン演奏で名高いピアニスト：アルフレッド・コルトーは、75歳で初来日した際にプログラムの一つとして、日比谷公会堂をはじめとする各地で演奏しました。

ショパンの素晴らしい音楽に感謝しつつ。

阪田 知樹

## オール・ショパン・プログラム

### All Chopin Program

#### ■ 24の前奏曲 Op.28 24 *préludes* Op.28

第1曲ハ長調	第2曲イ短調	第3曲ト長調	第4曲ホ短調	第5曲ニ長調
第6曲ロ短調	第7曲イ長調	第8曲嬰ヘ短調	第9曲ホ長調	第10曲嬰ハ短調
第11曲ロ長調	第12曲嬰ト短調	第13曲嬰ヘ長調	第14曲変ホ短調	
第15曲変ニ長調	第16曲変ロ短調	第17曲変イ長調	第18曲ヘ短調	第19曲変ホ長調
第20曲ハ短調	第21曲変ロ長調	第22曲ト短調	第23曲ヘ長調	第24曲ニ短調

#### ■ 12の練習曲 Op.10 12 *études* Op.10

第1曲ハ長調	第2曲イ短調	第3曲ホ長調	第4曲嬰ハ短調	第5曲変ト長調
第6曲変ホ短調	第7曲ハ長調	第8曲ヘ長調	第9曲ヘ短調	第10曲変イ長調
第11曲変ホ長調	第12曲ハ短調			

#### ■ 12の練習曲 Op.25 12 *études* Op.25

第1曲変イ長調	第2曲ヘ短調	第3曲ヘ長調	第4曲イ短調	第5曲ホ短調
第6曲嬰ト短調	第7曲嬰ハ短調	第8曲変ニ長調	第9曲変ト長調	第10曲ロ短調
第11曲イ短調	第12曲ハ短調			



## 阪田知樹 (ピアノ)

Tomoki SAKATA, Piano

2016年フランチ・リスト国際ピアノコンクール (ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。

ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックではベートーヴェンの演奏を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。

国内はもとより、世界各地20ヵ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。クレムリン音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルをニコライ・ペトロフ氏が「世界一のリスト」と絶賛。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムを

リリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」が23年11月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、及び同大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学にて学士、修士首席修了、現在同大学院ソリスト課程に在籍。世界的ピアニストを輩出し続ける「コモ湖国際ピアノアカデミー」の最年少生徒として認められて以来、イタリアでも研鑽を積む。パウル・バドゥラ＝スコダ氏に10年に亘り師事。

2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュタント賞を受賞。

## フレデリク・ショパン (1810-49)

寺西基之 (音楽評論家)

## ■ 24の前奏曲 Op.28

ショパンの創作人生の中期に書かれたこの作品は、24すべての調による全24曲の小品を5度循環の長・短調(つまりハ長調→イ短調→ト長調→ホ短調……という順)で並べた曲集である。1曲ごと性格と書法に独自の個性を与えつつ、全体を巧みな配列で纏めながら、多様な情感を表出した名作で、作曲は第1曲から順を追ってなされたのではなく、1836年頃から少しずつ書きたためられ、1839年初めにマヨルカ島で全曲が完成された。

全体は、同じ動機の反復で構築された第1曲ハ長調(アジタート)、和声的書法が暗い情感を醸し出す第2曲イ短調(レント)、軽やかな動きの第3曲ト長調(ヴィヴァーチェ)、ショパンの葬儀の際にも演奏されたエレジー風の第4曲ホ短調(ラルゴ)、リズムックな動機による無窮動的な第5曲ニ長調(アレグロ・モルト)、陰鬱な気分を満たした第6曲ロ短調(レント・アッサイ)、マズルカ風のリズムによった短い第7曲イ長調(アンダンティーノ)、短い動機の反復のうちに激しい感情を表出する第8曲嬰ハ短調(モルト・アジタート)、力強く雄渾な第9曲ホ長調(ラルゴ)、即興風の趣を持つ第10曲嬰ハ短調(モルト・アレグロ)、軽快に運ばれる第11曲ロ長調(ヴィヴァーチェ)、緊迫した疾走をみせる第12曲嬰ト短調(プレスト)、ロ

マン的甘美さが支配する第13曲嬰ハ長調(レント)、ユニゾンの動きが不気味な雰囲気を生み出す第14曲変ホ短調(アレグロ)、「雨だれ」の愛称で親しまれている叙情美溢れる第15曲変ニ長調(ソステヌート)、激しい情熱に満ちた第16曲変ロ短調(プレスト・コン・フォーコ)、優しい情感を湛えた第17曲変イ長調(アレグレット)、レチタティーヴォ風の雄弁な第18曲ハ短調(モルト・アレグロ)、軽快に動き回る第19曲変ホ長調(ヴィヴァーチェ)、葬送行進曲を思わせる荘重な第20曲ハ短調(ラルゴ)、夜想曲風の旋律が美しい第21曲変ロ長調(カンタービレ)、闘争的な性格を持つ第22曲ト短調(モルト・アジタート)、デリケートな軽やかさを示す第23曲ハ長調(モデラート)と続き、最後は独立を失った母国ポーランドを憂えるショパンの心情を表現したといわれる悲劇的な第24曲ニ短調(アレグロ・アパッシオナート)で全曲を締めくくる。

## ■ 12の練習曲 Op.10

ショパンが練習曲を書き始めたのは初期のポーランド時代の1829年頃だった。そしてパリ時代初めまでに書きためた12曲をまず1833年にOp.10として出版する。若い時期の作ながら高度な技巧性を深い芸術表現に結び付けた傑作である。

右手の分散和音と左手のオクターヴによる輝かしい第1曲ハ長調(アレグロ)、右手の半音階のうちに微妙な情緒が表された第2曲イ短調(アレグロ)、「別れの曲」して有名な叙情豊かな第3曲ホ長調(レント・マ・ノン・トロポ)、16分音符が続く情熱的な第4曲嬰ハ短調(プレスト)、「黒鍵の練習曲」として知られる軽快な第5曲変ト長調(ヴィヴァーチェ)、声部の組み合わせのうちに寂しげな旋律が浮かび上がる夜想曲風の第6曲変ホ短調(アンダンテ)、右手の3度と6度の動きを中心とする第7曲ハ長調(ヴィヴァーチェ)、右手が広い音域をかけ巡る第8曲ハ長調(アレグロ)、不安な情感を持つ第9曲ハ短調(アレグロ・モルト・アジタート)、右手の6度を中心に表情が変化する第10曲変イ長調(ヴィヴァーチェ・アッサイ)、両手のアルペッジョによる第11曲変ホ長調(アレグレット)、「革命」の愛称で知られ、母国がロシア軍に侵攻されたことへの怒りを表したといわれる第12曲ハ短調(アレグロ・コン・フォーコ)からなる。

## ■ 12の練習曲 Op.25

練習曲の第2集であるOp.25は1837年に出版された。作曲は1832年頃からOp.10の何曲かと時期が重なっており、パリ時代初めの、

初期から中期へ移る時期の所産である。第1集の作風を受け継いで12曲それぞれが個性的な特質を持ち、1曲ごと難技巧と音楽的な表現が見事に融合している。

両手の分散和音から叙情的な旋律が浮かび上がる第1曲変イ長調(アレグロ・ソステヌート)、両手のリズムの違いと右手のレガートの動きを中心とした第2曲ハ短調(プレスト)、特徴的なリズムを組み合わせた音型の反復による第3曲ハ長調(アレグロ)、左手の跳躍と弱拍の和音が結び付いた第4曲イ短調(アジタート)、逆付点のリズムが特徴的なスケルツォ風の第5曲ホ短調(ヴィヴァーチェ)、右手の3度による難曲の第6曲嬰ト短調(アレグロ)、夜想曲風の叙情的な第7曲嬰ハ短調(レント)、6度の難しい練習曲の第8曲変ニ長調(ヴィヴァーチェ)、「蝶々」の愛称を持つ軽快な第9曲変ト長調(アレグロ・アッサイ)、オクターヴで進む情熱的な第10曲ロ短調(アレグロ・コン・フォーコ)、「木枯し」の通称で知られる激しい第11曲イ短調(アレグロ・コン・ブリオ)、両手のアルペッジョによる大きなうねりのため「大洋」の愛称を持つ第12曲ハ短調(モルト・アレグロ・コン・フォーコ)と続く。